

賢材研究会委員殿

2015 年度 活動報告概要

平成 28 年 3 月 24 日

東京製綱株式会社

研究所 蜂須賀(記)

1. 活動概要

第 1 回学術技術交流会/夏季研修会 不参加

第 2 回学術交流会 参加

総会及び第 3 回学術技術交流会 参加

2. 外部発表(2015 年度)

以下の外部発表を実施。

- 1) H. Kimura, T. Enomoto, S. Hachisuka, T. Harada, and K. Sasaki, Long Term Outdoor Tests of CFRP Strand Cable (CFCC) under UV Ray Exposure and Water Immersion, International Conference on the Regeneration and Conservation of Concrete Structures (RCCS), June 1–3, 2015, Nagasaki, Japan Concrete Institute
- 2) 木村浩、榎本剛、蜂須賀俊次、炭素繊維複合材ケーブル(CFCC)の長期屋外・屋内暴露及び水中浸漬試験、資源・素材 2015(松山)
- 3) 菅原公理、道路橋ケーブルの検査－米国の事例、資源・素材 2015(松山)
- 4) 須藤友明、林業機械向けワイヤロープの開発、資源・素材 2015(松山)

3. 賢材への期待

ワイヤロープは、「安全」「安心」を提供する複合的な部材であり、TCT(Total Cable Technology)を合言葉にして、当社では、スチール以外にも、繊維や炭素繊維などの活用も進めて、「頼れる」企業になるべく、努力中である。複合的な要素の解析が必要なことも多くあるが、よりシンプルな、簡潔な技術への志向も大切であると感じている。

炭素繊維をケーブルとした CFCC については、本年夏に米国工場の立ち上げを予定しており、鋸びないコンクリート向け補強材として、土木用途の需要捕捉を進めていく。また、送電線心材としての ACFR による架け替えへの対応を推進中である。

以上